

思いを込めて スペシャルなコンサートを 大好きなこのまちで。

このまち思い シンフォニー

メンデルスゾーン
序曲「フィンガルの洞窟」 作品26
ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64
ベートーヴェン
交響曲第7番 イ長調 作品92

「広響ホットコンサート」31回目となる今年のテーマは、「このまち思いシンフォニー」。大好きな広島このまちと地元の皆さまへの“特別な思い”を込めて、広島のご出身であり、世界で活躍するおふたりを招聘しました。指揮は、故カラヤンから絶大な信頼を得て、その才能を開花させた山下一史。ソリストは、フランスのヴァイオリン国際コンクールで優勝したばかりの正戸里佳。地元のプロオーケストラである広島交響楽団とコラボレーションするスペシャルコンサートです。お届けするのは、ドイツが生んだ天才、メンデルスゾーンとベートーヴェンの作品から。クラシック初心者でもクラシック通でも楽しめる不朽の名作をお楽しみください。

CONDUCTOR

指揮 **山下一史**

Kazufumi Yamashita

1984年桐朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学に留学、1986年デンマークで開かれたニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。

1985年12月からカラヤンの亡くなるまで彼のアシスタントを務め、以後、デンマーク放送交響楽団などを指揮、着実にヨーロッパでの実績を重ね、1993年から1998年までヘルシンボリ交響楽団(スウェーデン)の首席客演指揮者を務めた。

日本国内では1988年NHK交響楽団を指揮してデビュー、以後国内の主要オーケストラに定期的に出演し、好評を得ている。オーケストラ・アンサンブル金沢のプリンシパル・ゲスト・コンダクター(1991年～1993年)、九州交響楽団の常任指揮者(1996年～1999年)を歴任。また、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団常任指揮者(2002年～2008年)を務め、2005年秋には、新国立劇場の招聘を受け、同劇場で松村禎三《沈黙》の公演を行い、東京の音楽界にも衝撃を与えた。2008年4月より同団名誉指揮者就任。

2006年4月からは仙台フィルハーモニー管弦楽団より指揮者として迎えられ、R.シュトラウス「英雄の生涯」、リムスキー=コルサコフ「シェエラザード」、シューマン交響曲第2番・交響曲第4番のCD制作も行うなど積極的な活動を展開。2009年4月から2012年3月まで同団の正指揮者を務める。

2008年9月に行われた愛知県文化振興財団主催によるヴェルディ「ファルスタッフ」の公演においても大きな成果を上げ、「第17回三菱UFJ信託音楽賞」を受賞、2009年4月にはサンクトペテルブルク交響楽団定期公演に出演し、大成功を収めた。

また、2011年2月にはシューマン作曲歌劇「ゲノフェーファ」日本舞台初演や、2013年1月、2016年3月には水野修孝 歌劇「天守物語」、2016年7月に仙台での「コジ・ファン・トゥッテ」公演など、現在、オペラ、オーケストラの両面において着実な成果を積み上げている指揮者として、ますます注目を浴びている。

2016年4月より千葉交響楽団(旧ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉)音楽監督に就任。「おらがまちのオーケストラ」をスローガンに、定期公演のみならず、音楽教室にも積極的に出演、千葉県民一人一人に愛されるオーケストラをめざし、一層の発展に努めている。

東京藝術大学音楽学部指揮科招聘教授。

VIOLIN

ヴァイオリン **正戸 里佳**

Rika Masuda

広島市に生まれ、17歳でパガニーニ国際ヴァイオリンコンクール第3位を受賞し、パリを拠点にしながら国際的な活動を展開している。正戸里佳が一番大切にしているのは“歌”であり、高度なテクニックと深い音楽性に支えられた“歌”が、世界の聴衆を魅了している。

3歳でヴァイオリンを始め、わずか11歳でモルドバ・フィルハーモニー(ルーマニア)とブルッフ「ヴァイオリン協奏曲」を共演。その模様はルーマニア国営ラジオで放送された。

広島大学附属中学校を経て桐朋学園女子高等学校音楽科を首席卒業後、同大学ソリスト・ディプロマを経て2009年に渡仏。パリ国立高等音楽院修士課程をプルミエ・プリ(一等賞)およびフランソワーズ・ドゥロー賞を受賞し、同博士課程を首席で卒業後、同音楽院第三課程アーティスト・ディプロマコースを修了。2016年ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学院アーティストコース修了。

これまでに、アカシア賞(2004年)、パガニーニ国際ヴァイオリンコンクール第3位(日本人最高位 2006年)、中国電力エネルギー音楽賞(2011年)、ミラノSocietà Umanitaria国際音楽コンクール第1位(2011年)、デュオハヤシ国際コンクール第1位(2013年)、ドミニク・ペカット国際ヴァイオリンコンクール審査員満場一致の第1位および聴衆賞受賞(2016年)など多くの受賞歴がある。

現在はパリを拠点に、フランス、イタリア、アメリカ各国のフェスティバルに招待されている。2013年パリオECD第900回総会記念コンサートに出演、2015年在仏日本大使館にてリサイタルを開催、2016年にはパリの殿堂サル・ガヴオーにてチャイコフスキーの協奏曲を演奏し大好評を博す。日本では、全国各地でのリサイタルや音楽祭に出演するほか、広島交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団などと共演を重ねている。

ヴァイオリンを長谷川夕子、前橋汀子、工藤千博、原田幸一郎、ロラン・ドガレイユ、パトリス・フォンタナローザ、ピエール・アモイヤルの各氏に師事。使用楽器は1710年製ジュゼッペ・グアルネリ(フィリウス・アンドレア)。

Hiroshima 管弦楽 **広島交響楽団** *Symphony Orchestra*

1963年に「広島市民交響楽団」として発足。1970年に名称を「広島交響楽団」とし、1972年のプロ改組以来、国際平和文化都市“広島”を本拠地とする、中・四国を代表するプロオーケストラとして活躍の場を拓いている。

2017年より下野竜也が音楽総監督を、クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者を務めている。2004年から2016年まで音楽監督・常任指揮者を務めた秋山和慶は、2017年終身名誉指揮者に就任した。日本各地はもとより、ウィーン、プラハ、フランス、ロシア、韓国などで海外公演も行うなど、各地で平和と希望のメッセージを発信し続けている。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバリー・シリーズ、「音楽の花束」名曲シリーズをはじめ、県内における移動音楽教室、巡回コンサートから各種依頼公演など年間約140回を超える演奏活動を行っている。



第31回 広響ホットコンサート

このまち思い シンフォニー

9月3日(日) 15:00開演 (14:00開場)

広島文化学園HBGホール (中区加古町3-3)

◎ご入場には招待券が必要です。
(就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください)

全席自由 一部関係者
席を除く

メンデルスゾーン… 序曲「フィンガルの洞窟」 作品26
ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64
ベートーヴェン… 交響曲第7番 イ長調 作品92

主催  広島ガスグループ



指揮 ● 山下 一史
© ai ueda



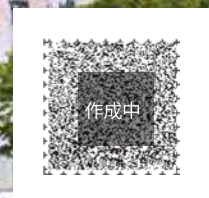
ヴァイオリン ● 上野 里佳



管弦楽 ● 広島交響楽団

思いを込めて
スペシャルなコンサートを
大好きなこのまちで。

これは目の不自由な方の
音声コードです。



作成中

●お問い合わせ: 広島ガス株式会社 TEL082-252-3000 **広島ガス** ご入場の際にお手伝いが必要なお客さまは、スタッフにお申し付けください。